

あなたの声を県政に！ いのちとくらしを守ります



LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

代表質問

11月定例会議



質問者 有村 國俊 議員

1. 新型コロナウイルス感染症への対策と今後について
2. 高等教育機関について
3. 税制のあり方について
4. 滋賀のスポーツ振興について
5. 琵琶湖の漁業振興と環境改善について
6. 県立病院について
7. 強靱な道づくり・川づくりの推進について
8. 未来を担う子供たちへの環境づくりについて
9. 警察本部長就任にあたって

新型コロナウイルス感染症への対策と今後について

Q 自公政権が進めたワクチン接種の評価とその効果

A 知事 第5波においては、高齢者のワクチン接種が一定進んでおりましたことから、本県においても陽性患者数が今までの最大の規模となったにもかかわらず、高齢者の感染者数が比較的少なく、結果として死亡された方や重症化された方を低く抑えることができたかと捉えております。また、11月末現在において、ワクチンの2回目接種完了された方は接種対象者である12歳以上人口の85%を超えるまでとなったことで、現在の感染動向が非常に落ち着いている状況につながっていると考えており、ワクチンの効果が

如実に表れているものではないかと評価しているところでございます。

Q 第6波への備え

A 知事 病床ひっ迫時には、臨時的医療施設の運用を開始することで、入院待機者などを速やかに受け入れるなど予測される第6波に備えて、一般医療を維持しつつ、療養者にこれまで以上に安心して療養していただけるよう、陽性確認前から回復・療養解除後まで切れ目なく対応できる体制の強化を進めてまいりたいと存じます。

Q 滋賀のスポーツ振興について

A 知事 スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、人々の精神的な充足や明日の活力をもたらすなど生きる力になるとともに、共生社会や活力ある地域社会の実現に寄与しており、東京オリンピック・パラリンピックを通じて、その力を再認識いたしました。

また、2025年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会におきましても、子どもたちをはじめ多くの県民が、選手の活躍を間近に感じるとともに、大会運営に携わることで、スポーツの魅力を一層感じることが出来る機会になると考えております。これらの経験を通して、例えば、子どもたち

が新しくスポーツに挑戦したり、地域に新たなシンボルスポーツが誕生したり、スポーツボランティアが根付く滋賀にしたいと考えております。スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツに対する理解の促進にも一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのような滋賀のスポーツを思い描きながら、県民の皆さんが年齢や障害の有無に関わらず様々なスポーツを気軽に始め、楽しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツを「する」「みる」「支える」という関わりの中で、県民の皆さんや地域の健康づくりを進めていきたいと存じます。

Q スポーツ・ツーリズムの推進について

A 知事 本県では、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境などを活かして、ピワイチをはじめ、県内各地で湖上スポーツやトレイルランニング、トライアスロン、スキーなどを、多くの方々に楽しんでいただいているところでございます。これらの本県の自然環境を活かしたスポーツと、歴史文化遺産、食などの魅力を融合させることで、県外からも多くの方々にお越し

いただき、地域の活性化につなげていきたいと考えています。またプロスポーツチームの発信力を活用した取組も進めていきたいと考えています。今後、関係団体等とも連携し、本県ならではのスポーツをたくさんの方々に楽しんでいただけるよう情報発信に努め、スポーツと地域資源の相乗効果が生まれるスポーツ・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。

G7環境大臣会合の滋賀県開催を要望

2023年に開催されるG7サミットに伴う環境大臣会合を滋賀県・大津の地で開催されるよう政府、外務省、環境省に要望しました。



二之湯国家公安委員長に「警察官増員」を要望

滋賀県は、警察官一人当たり負担人口が全国3位の621.8人で全国平均の490.3人を大きく上回っています。更にR4の植樹祭、R7の国スポ・障スポも見据え、警察官増員措置を要望しました。



小寺内閣府政務官に防災減災国土強靱化の更なる推進を要望

道路、河川、砂防など県民の安全に資する、国土強靱化の推進予算措置を重点的に要望。



東京2020パラリンピック競泳の金メダリスト

「置かれた場所で咲きなさい」 木村 敬一 選手

東京2020パラリンピック競泳の金メダリストは、栗東生まれで2歳の時病気で失明。活発ゆえに生傷が絶えず、10歳からお母さんと彦根のスイミングに通いはじめたそうです。中学校から東京の盲学校へ。ご家族や学校、東京ガスはじめ理解者の支援と、弛まざる努力で、北京、ロンドン、リオのパラリンピックを経て、ついに東京で金メダルに輝かれました。詳しくは『闇を泳ぐ』を是非お読み頂き、エネルギーを受けとってください。



滋賀県 では、障害者スポーツを推進するため、きっかけづくりや情報発信、支える人材の育成などに取り組み、2025年に本県で開催します全国障害者スポーツ大会につなげてまいります。同時に開催する国民スポーツ大会とともに県民の皆さんが夢や感動を共有できる大会にしたいと考えておりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

ハラスメント防止研修を開催しました

臨床心理士の高橋啓子さんをお招きし、「ハラスメントの防止について」講演をいただきました。皆が熱心に聴講し、県議会としてもハラスメント防止により一層取り組む必要があるとの思いを強くしました。

